

地方創生に係る交付金 実績報告書

資料2

①地方創生推進交付金事業

事業名称	「足袋のまち行田」活性化プロジェクト		事業年度	平成28年度～30年度	
総事業費	45,600,000	うち国庫補助金額	22,800,000	補助率	1/2

事業の背景・概要	<p>行田の足袋は、明治時代には名実ともに日本一となり、昭和13年には、事業所数約200社、足袋生産量8,400万足、全国生産の80%を占めていた。しかし、戦後の服装の変化は著しく、靴下やサンダルなどに移行していくに従い、生産は伸び悩み、現在は、全国トップシェアを誇ってはいるものの、近年は年間250万足から300万足の生産量にとどまっている。</p> <p>そのような中、平成27年3月2日に行田の足袋製造用具などが国登録有形民俗文化財に登録されたほか、平成28年7月8日には行田の足袋産業が舞台となった池井戸潤氏著書「陸王」の出版など、本市の地場産業の足袋が再び注目を浴びたことから、ここを絶好の機会と捉え、「既存足袋の販路拡大と新商品開発」と「足袋のまち活性化」を一体的なプロジェクトとして実施することで、事業所の減少及び地場産業の衰退に歯止めを掛けるとともに、市経済及びまちの活性化を図る。</p>
----------	---

実績

年度	実施内容	事業費	交付金充当額
H28年度	○販路拡大・新商品開発事業 イベントPR用品を作成したほか、販路拡大を目的としたマーケティング調査や新商品開発のための金型作成、試作を行った事業者を支援した。 (交付決定が平成28年12月末であったため、事業期間は平成29年1月～3月の3カ月)	3,753,642	1,876,821
H29年度	○販路拡大・新商品開発事業 市場調査、販路拡大を目的に、イベント出展や海外訪問を行った事業者を支援した。また、新商品開発のための金型作成や、原材料購入を支援した。 ○足袋のまち活性化事業 市内のモデル小学校1校を対象に、足袋の健康効果を検証する研究事業を実施するとともに、足袋蔵めぐりの企画や足袋型の記念切符発行による観光客誘致を行った。	18,909,067	9,454,533
合計		22,662,709	11,331,354

予定

年度	実施内容	事業費	交付金充当額
H30年度	○販路拡大・新商品開発事業 引き続き、販路拡大を目的に商談会や海外展示、新商品の型作成、新商品製造のためのマシン購入を行う事業者を支援する。 ○足袋のまち活性化事業 足袋フィッター(足に合った足袋を薦めることができる人)を養成する講座や、足袋の履きこなしを競うコンテスト(足袋コレ)を実施し、足袋の地場産業としての意識の定着化と、観光客誘致を図る。	21,000,000	10,500,000
合計		21,000,000	10,500,000

重要業績評価指標(KPI)

指標の名称	分類	事業実施前(平成27年3月)	1年目(平成29年3月)	2年目(平成30年3月)	3年目(平成31年3月)
「足袋のまち行田」活性化推進協議会加盟事業者の足袋売上高合計	目標値	—	910,000千円	940,000千円	990,000千円
	実績値	900,000千円	931,241千円	932,315千円	
観光入込客数	目標値	—	1,466,000人	1,516,000人	1,566,000人
	実績値	1,466,000人	1,503,000人	1,430,000人	

地方創生に係る交付金 実績報告書

②地方創生拠点整備交付金事業

事業名称	街なかにぎわい拠点整備事業			事業年度	平成29年度 (平成28年度繰越)
総事業費	117,099,981	うち国庫補助金額	44,220,000	補助率	1/2

事業の背景・概要	<p>本市の中心市街地には、足袋蔵をはじめとした歴史的建築物が現在も数多く点在しており、それらを目的とした観光客が近年、増加傾向にあるが、街歩きの際に休憩できる施設や、本市ならではの魅力的な飲食メニューを提供できる店舗が少ないことから、来訪者の滞在時間が短い傾向にあり、観光客の増加が街の賑わいに必ずしも繋がっていない状況である。</p> <p>そこで、かつての足袋産業の繁栄を支えた市指定文化財である旧忍町信用組合店舗建物を、周辺景観とも調和する水城公園内に移築し、散策エリアの拠点として、訪れた方への飲食提供をメインとした賑わい拠点施設として整備する。また、施設の運営は、市内子育てサークル等が行うことで、観光客はもとより、親子連れの市民等もターゲットとし、交流を促進する。</p> <p>また、施設の整備と併せて、行田産農産物等を利用した健康レシピを開発して施設で提供する他、市内協賛店舗にも呼びかけて参加してもらうことで、魅力向上を図る。</p>
----------	---

取組名	平成29年度実施内容	今後の予定	H29年度事業費	交付金充当額
旧忍町信用組合店舗移築・改修・復原事業	市指定文化財である旧忍町信用組合店舗建物を、水城公園内に移築・改修・復原し、街なかにぎわい拠点施設として整備を行った。カフェ等の運営を行う団体を公募し、審査を経て運営団体「行田レインポーネットワーク」を選定し、協定を締結した。 【事業内容】修復設計、本体工事(解体・移築工事)、その他移築先調査・測量・整地工事等	平成30年度上半期に、運営団体と調整の上、必要な備品等を準備し、本年秋を目安に飲食の提供を開始する。 今年度から開始する水城公園東側園地再整備と合わせて、一体的な活用を図る。	115,449,981	43,395,000
健康レシピ開発事業	行田在来青大豆をはじめとした本市の特色ある農産物等を活用した健康レシピを、栄養学科のある県内大学への委託により開発した。 【事業内容】レシピ開発委託	開発したレシピを移築した上記施設で提供するとともに、市内飲食店にも広く参加を募り、本市の農産物等を活用した健康レシピ取扱い店舗の拡大を図る。	1,650,000	825,000
合計			117,099,981	44,220,000

重要業績評価指標(KPI)

指標の名称	分類	事業開始前	平成30年度	平成31年度	平成32年度
カフェ及び協賛店舗の合計売上高(千円)	目標値		5,000千円	13,000千円	25,000千円
	実績値		0円		
街なか観光入込客数(人)	目標値		310,000人	330,000人	350,000人
	実績値		300,000人		
人口社会減の解消数(人)	目標値		0人	100人	250人
	実績値		0人		